今後の進め方

令和7年度のワーキングチーム編成について（案）

継続設置

■赤穂線WT

＜メンバー＞

岡山市、備前市、瀬戸内市、岡山県、備前県民局、JR西日本岡山支社

■姫新線WT

＜メンバー＞

津山市、新見市、真庭市、美作市、勝央町、岡山県、備中県民局、美作県民局、JR西日本岡山支社

■因美線WT

＜メンバー＞

津山市、岡山県、美作県民局、 JR西日本岡山支社

第7回全体会について（案）

○開催時期　　令和7年度上半期

○議　　題　　各ワーキングチームの活動状況報告

各団体の利用促進の取組状況報告

その他

【参考】令和７年度県予算について①

地域公共交通利用促進事業　＜予算額＞２９,６９５千円

＜概要＞

　各種広報媒体を活用し、公共交通の良さや大切さなどをＰＲし、公共交通に対する関心を高め、利用への機運を醸成するとともに、キャンペーン事業を通じ、公共交通に対する興味や関心を喚起する。

　また、ＪＲ 在来線の活性化を図るため、岡山県ＪＲ在来線利用促進検討協議会において、県、市町村及びＪＲが連携して、利用促進策を検討、実施する。

＜ポイント＞

１　公共交通全体の利用促進に面的に取り組むため、ＪＲ在来線やバス等を含めた<u>公共交通全般に拡充</u>する。

２　JR在来線各路線ワーキングチームの予算を各2,０００千円計上（令和６年度と同額）

【参考】令和７年度県予算について②

地域公共交通維持確保支援事業（重点支援枠）

＜予算額＞４８,000千円（通常枠含む）

＜補助対象者＞

市町村（政令市除く）又は複数の市町村等から構成される団体・市町村（政令市を除く）又は補助事業を行う団体であって、その構成員に１以上の市町村を含むもの。

事業区分	補助対象経費	補助率・補助限度額（千円）
㈠ 地域公共交通計画策定支援事業	・地域公共交通計画の新規策定	1/2 2,500
㈡ 鉄道利用促進事業	・鉄道の利用促進に係るもの （環境改善事業を除く）	1/2 2,500
㈢ ＤＸ推進事業	・地域公共交通のＤＸの推進に係るもの	1/2 2,500
市町村ごとの補助上限額		5,000